

番組審議会議事録

開催年月日：平成 25 年 3 月 12 日(火) 18 時 00 分～19 時 00 分

開催場所：アクア木更津 8F 会議室

委員の出席 委員総数 7 名

出席委員数 6 名

出席者の氏名： 藤波陽四郎（委員長）、早川令子（副委員長）、渡辺知尚、
山口貴史、平野 満、磯貝弘一

欠席委員の氏名： 村重正明

放送事業者側出席者： 石村比呂美、池田和隆、兼平健一

1. 議 題

- ・「森 章の明日に技あり」（2013 年 2 月 12 日放送）について

（藤波 委員長）

- ・森先生は、良く勉強をしていらっしゃる、さすが現役だと思いました。
- ・プラス思考、一生懸命と一処懸命の違い、トップリーダーの施行等、勉強になりました。
- ・「諦めたときから終わりが近づく」という言葉、納得しました。
- ・具体策や実例を多く話して頂き、聴き手に納得してもらう内容を検討してもらう必要があると感じました。
- ・現代の子供達の素晴らしいところも、反面教師として話題にのせてほしかったです。
- ・テレビやラジオは、ある程度のターゲット（老若男女や年齢）を絞って番組を制作しますが、この「森 章の明日に技あり」は、誰をターゲットとして番組を制作しているのでしょうか。内容によっては、放送時間の検討も必要であると思います。

(渡辺 委員)

- ・ 森先生の子供達に対する気持ち、熱意が伝わってきました。
- ・ 現代社会において、マイナスの言葉ばかり使ったり、目線を合わせられない人が多いですが、表情や第一印象、言葉遣いは自分で意識すれば変われることを熱心に話されており、リスナーは前向きな気持ちになれると思います。

(山口 委員)

- ・ 最近の人（特に若い人）は伏し目がちであり、今こそ笑顔を持って前を向かなければならないというのは、さすがに学校の校長先生だけあって、人間観察眼が鋭いと思いました。
- ・ 一方で、深く考えさせるテーマながらも、森先生のちょっと軽い感じのトーク、リスナーに押し付けがましくないところが良かったと思います。

(平野 委員)

- ・ 森先生のお話は、殺伐とした現代社会そのものであると痛感しました。
- ・ 老若男女を問わず、「言葉・笑顔の大切さ」は人間として生きている限り、何かにつけて意識を持ち続けることは必要であり、大変有意義な内容であると感じました。

(磯貝 委員)

- ・ 全ての行動の根源は「意識」である、との考え方を、リスナーに分かりやすい事例に触れながら番組の中でお話をされていた、と感じました。

- ・「言葉の大切さ」、「笑顔や視線の大切さ」、「プラス思考・常に前向きに気を持っていく」など、日常、意識しないで行っている「意識行動の大切さ」を森先生が番組の中で紹介し、現代社会の鬱蒼とした世相観の中で前向きに行動する事の重要さを、あらためて教えてくれた番組でした。

(早川 副委員長)

- ・ゆっくりとした“間合い”で聴きとりやすかったです。
- ・お話のバックにゆるやかな音楽が流れている部分もありましたが、なんだか気持ちが落ち着いて、気分良く、お話自体も聴きやすかったです。
- ・お話の途中で一度音楽がはさまれていましたが、気分転換としてもう一回、話し手が好きな曲が流れても良かったかなと思いました。
- ・今回の番組を生徒や若い人達に聴いてもらい、意見を知りたいなと思いました。意外な面白い反応があるかもしれません。

(放送事業者 石村)

- ・リスナーターゲットと放送時間帯についてですが、学生、若者だけでなく世代を超え聞いていただきたいと考えております。
- ・午前9時、再放送夜7時の放送時間帯については、今一度検討していきたいと思っております。
- ・頭では分かっていることでも、改めて取り上げることで認識できることもあるかと思っております。今後とも身近な出来事の中からテーマを取り上げていただき、わかりやすくお話しいただきたいと考えております。
- ・得てして押しつけがましくなりがちな構成ですが、この点にも注意し制作してまいります。
- ・早川副委員長のご意見にありました音楽については、番組の構成上2曲を入れることはなかなか難しいのですが、番組が平坦にならないように、話が長いなあという感じにならないよう制作面での工夫を心掛けてまいります。